

## 交差点 「左後方の安全確認をしなかった」

午後3時 左折の大型トラックに、自転車巻き込まれ死亡

2016.1.25 22:10

25日午後3時15分ごろ、大阪府の交差点で、自転車で横断歩道を渡っていた男性(54)が、左折してきた大型トラックに巻き込まれた。男性は胸を強く打ち、病院で死亡した。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、トラック運転手の男性容疑者(59)を現行犯逮捕した。同署によると、「左後方の安全確認をしなかった」と容疑を認めている。

## 午後4時 信号交差点、右折の車にはねられ、幼い兄弟が重軽傷

2016年1月25日(月)10時42分

24日午後4時25分ごろ、福島県で同市の幼稚園の男児(6)と兄で小学1年の男子児童(7)が軽乗用車にはねられた。男児は頭を強く打ち重傷、男子児童は軽いけがをした。警察は、運転上の注意を怠ったとして、自動車運転処罰法違反(過失致傷)の疑いで、軽乗用車を運転していた無職の男性容疑者(66)を現行犯逮捕した。同署によると、容疑者が信号機のある交差点を右折したところ、横断歩道を歩いていた2人に気付くのが遅れ、2人をはねたとみられる。

運転手は、「油断禁物」

- ◆スピードの出し過ぎ
- ◆前方不注意

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

追突事故の多くが  
低速追従時の安心感と油断からくる、車間距離不足と注意力不足

「ヒヤリ」は、事故の「予兆」！  
「安全確認」で、危険な「まさか・・・」を根絶！

車が動いているときは、いかなる場合も  
常に、100%運転に集中すること

自分は、事故を起こすはずがない？ 事故に遭うはずがない？

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

事故の要因は、運転者の気抜き・手抜き・ぼんやり・わがまま・・・にある

## 踏切で特急とトラック衝突

2016年1月26日(火)1時36分

25日午後2時半ごろ、埼玉県の踏切で、特急と70歳の男性が運転するトラックが衝突しました。列車の乗客・乗員とトラックの運転手にけがはありませんでした。警察によりますと、トラックの運転手が「車の前の部分が遮断機にひっかり、確認するために車をそのままにして降りた」などと話しているということです。この事故の影響で、1時間近く運転を見合わせました。

## 凍った坂道でカーブ曲がりきれず、転落 ワゴン車転落で93歳女性死亡

2016.1.26 05:03

送迎車が転落した現場は下り坂で、車は坂道を下った後、突き当たりで左折しようとしたが曲がりきれずに直進し、約3メートル下の駐車場に落ちた。突き当たりにはガードレールはなかった。この事故で、乗っていたデサービス利用者で無職の女性(93)が死亡。いずれも80代女性2人と60代男性も頭部打撲などの軽傷を負った。警察は同日、自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、運転していた男性容疑者(24)を現行犯逮捕した。「圧雪の下り坂で車がスリップした」と話している。デサービス運営会社の責任者は「エンブレキだけで坂を下ろうとしたが、想定より道が滑り、ハンドル操作を誤ったと報告を受けた。遺族の方や利用者には大変申し訳ない」と謝罪した。

## 動き出した車を止めようとして挟まれた オートマチックだが、ニュートラルの位置で、サイドブレーキはかかっていた

2016/01/25

24日午後2時35分頃、胆振教育局長の男性(55)が、市道を挟んだ自宅向かいの家の車庫とマイカーの前部の間に挟まれているのを、向かいの家の住民が見つけた119番通報した。男性は搬送先の病院で間もなく死亡した。室蘭署によると、発見時、車はエンジンがかかり、変速機はオートマチックだがニュートラルの位置で、サイドブレーキはかかっていた。男性宅から向かいの家の車庫まで緩く傾斜しているという。同署は男性が自宅の敷地でエンジンをかけ、1人で車の雪を払うなどしている最中、意に反して動き出した車を止めようとして挟まれたとみている。